

一般質問発言通告内容

個人第1号 氏名 星熊 伸作

質問項目 No. 1	地震災害時の避難対策について	備考
要旨	<p>(1) 避難対策について</p> <p>ア 本市の地震時における指定避難所の最大収容可能避難者数について伺う。</p> <p>イ 想定避難者数に対する収容率について伺う。</p> <p>ウ 在宅避難をどのように推進しているか伺う。</p> <p>エ 災害用で非常用電源を購入する場合、市が補助する考えはあるか伺う。</p> <p>オ 避難所での簡易トイレは充足しているか伺う。</p> <p>(2) 避難所におけるペットの対応について</p> <p>ア 「飼い主の会」の運用について伺う。</p> <p>イ 避難所におけるペットの対応について獣医師会など関係団体と必要に応じ連携し、構築していく考えはあるか伺う。</p> <p>(3) 地域の防災活動について</p> <p>ア 自主防災会が購入するもので、どのようなものが多く購入されているのか伺う。</p> <p>イ 現在防災活動に係る補助金申請がされていない自主防災会に対して、どのように啓発していくか伺う。</p> <p>(4) 避難行動要支援者について</p> <p>ア 現在把握している避難行動要支援者の人数について伺う。</p> <p>イ 個別避難計画作成の進捗状況について伺う。</p>	

質問項目 No. 2	耳が聞こえづらい方への支援について	備考
要旨	<p>(1) 中等度難聴者の補聴器購入費助成制度について実施状況について伺う。</p> <p>(2) 軟骨伝導イヤホンの導入について 来庁者向けに市役所の窓口に設置する考えはあるか伺う。</p> <p>(3) ヒアリングフレイルについて</p> <p>ア ヒアリングフレイル予防の必要性の認識について伺う。</p> <p>イ ヒアリングフレイルチェックをする為のアプリの導入について伺う。</p>	

質問項目 No. 1	小牧市健康づくり推進プランについて	備考
要旨	<p>人生100年時代を迎える中、2040年代には高齢者数はピークに達し、高齢化率は今以上に上昇する見込みです。この人生100年を、どう生きるか。</p> <p>本市では、誰もが健康で生きがいをもち、心豊かに生活できるまちの実現を目指し、平成28年度に「第3次小牧市食育推進計画」を、令和元年度に「第2次健康日本21こまき計画 健康こまきいきいきプラン(後期計画)」を策定し取り組んできましたが、両計画が令和6年3月をもって終期を迎えるにあたり、「健康づくり」、「食育」を総合的かつ一体的に推進するため、「小牧市健康づくり推進プラン」を新たに策定しました。</p> <p>(1) 一人ひとりの健康づくりについて 7つの具体的な取組内容について伺います。</p> <p>(2) 社会で支える健康づくりについて どのように取組を進めていくのか伺います。</p>	

質問項目 No. 2	ごみ分別アプリ「さんあ～る」(8言語対応)について	備考
要旨	<p>このアプリは、日本語を含む8言語（日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語）に対応しています。ごみの出す日をお知らせする「アラーム機能」やごみの出し方を調べられる「資源・ごみの分け方と出し方」などを日本語はもちろん、外国語でも利用できる機能です。</p> <p>(1) 利用状況について ア 現在の登録者数を伺います。 イ 言語別の登録者数を伺います。 ウ どのような効果が期待できるのか伺います。</p>	

質問項目 No. 3	中学生の新たな制服について	備考
要旨	<p>平成31年、第1回定例会にて制服のスラックス導入を提案質問し、協議やアンケートをもとに、2024年4月から新制服が導入されました。現在の詰襟学生服・セーラー服と新制服から自由に選べるようになりました。さらに新制服は、性別に関係なくスラックスかスカートを選ぶことができます。また、新制服は気温の変化にも対応できるよう考えられています。</p> <p>(1) 生徒や保護者の反応について 新制服の反応を伺います。</p> <p>(2) 制服のあり方について 実際に新制服が導入され、新旧の制服が校内で混在し、自由な選択肢の中で学校生活を過ごしています。 導入から半年が経過しましたが、教育長の所見を伺います。</p>	

質問項目 No. 1	道路交通事故のない安全で快適な社会環境づくりについて	備考
要旨	<p>(1) 道路交通事故について ア 道路交通事故の発生状況を問う。 イ どのような原因で事故が発生しているのか問う。</p> <p>(2) 道路交通安全について ア 道路交通安全の取組として、どのようなことを行っているのか問う。 イ 通学路の道路交通安全の確保に向けた取組として、どのようなことを行っているのか問う。 ウ 道路の整備及び維持管理において、どのような安全対策を行っているのか問う。</p> <p>(3) 高齢者の自動車運転免許証について ア 本市における高齢者の免許証の保有状況及び返納状況は、どのようにになっているのか問う。 イ 高齢者のドライバーに対して、どのような取組を行っているのか問う。</p> <p>(4) 今後の対策について 今後、本市の道路交通安全対策をどのようにしていくのか問う。</p>	

質問項目 No. 1	東部地域の公共交通について	備考
要旨	<p>(1) 東部地域の公共交通の維持・確保に向けた取組状況について</p> <p>ア アンケート調査や地域懇談会の実施結果を受けての市の考え方について問う。</p> <p>イ こまき巡回バス「こまくる」の再編内容について問う。</p> <p>ウ 今後のスケジュールについて問う。</p> <p>(2) 自動運転実証調査事業について</p> <p>ア 自動運転に関する動向を踏まえた市の認識について問う。</p> <p>イ 今年度の実施内容について問う。</p>	

質問項目 No. 1	小牧市の地域公共交通について	備考
要旨	<p>こまき巡回バス「こまくる」は令和2年12月の再編時より市民の貴重な移動手段として17台23路線で1時間に一本程度の間隔で年末年始を除く361日運行している。現在、いわゆる2024年問題による自動車運転者の労働時間等の改善、運転手不足の深刻化、運転免許返納者の増加などの地域公共交通を取り巻く社会情勢の変化に伴い、令和6年8月7日に「小牧市地域公共交通会議」が開催され、こまき巡回バス「こまくる」は令和8年度の再編に向け方向性が示された。</p> <p>(1) 地域公共交通計画について 名鉄小牧線と犬山線を結ぶ民間バス路線について問う。</p> <p>(2) こまき巡回バス「こまくる」再編に向けた検討状況について ア 現在の課題について問う。 イ 再編方針について問う。 ウ パークアリーナ小牧（小牧市スポーツ公園総合体育館）へのアクセスについて問う。 エ 北西部地区住民の名鉄犬山線駅への乗り入れについて、市の考え方を問う。</p>	

質問項目 No. 1	新たな学校づくり推進計画の策定について	備考
要旨	<p>現在、小牧市では新たな学校づくり推進計画の策定に向けて検討が進められているが、学校再編については、学校関係者のみならず市全体で学校を取り巻く課題等を共有し、また、広く市民の意見を受け止めながら進めていく必要がある。</p> <p>そのような中、7月に本計画の案が示され、7月から8月にかけて広く市民の意見を聴くために、パブリックコメントが実施された。</p> <p>(1) パブリックコメントについて</p> <p>ア パブリックコメントの地区別の提出人数について問う。</p> <p>イ パブリックコメントの実施についてどのように周知を図ったか問う。</p> <p>ウ パブリックコメントで提出された意見をどのように受け止めているのか問う。</p> <p>(2) 学校再編の進め方について</p> <p>新たな学校づくり推進計画策定後の学校再編の具体的な進め方について問う。</p>	

質問項目 No. 2	小牧駅周辺整備事業について	備考
要旨	<p>小牧駅周辺整備事業については、昨年度から、名古屋鉄道株式会社と連携・協力しながら、東西駅前広場、駅東・駅西公園及び名鉄小牧駅ビルを一体的に捉え、ゼロベースからの再配置案の検討が進められている。</p> <p>(1) 小牧駅周辺整備事業の検討状況について</p> <p>ア 現在の検討状況について問う。</p> <p>イ 今後のスケジュールについて問う。</p>	

質問項目 No. 1	小中学校における学びについて	備考
要旨	<p>現在、教育委員会において新たな学校づくり推進計画の策定が進められている。5月のタウンミーティングにおいては、教育長から学校教育を取り巻く課題について話があり、この中で、学校再編が避けては通れない課題であることと合わせて探究的な学習の充実が必要であるといった話があった。</p> <p>(1) 本市が目指す探究的な学びについて ア 小中学校で行っている学びの課題を問う。 イ 本市が目指す探究的な学びのための具体的な取組内容を問う。</p>	

質問項目 No. 1	こども・若者支援について	備考
要旨	<p>(1) こどもの権利を守るための取組について</p> <p>ア 「子どもの権利条約」が日本で批准されて今年で30年になるが、こどもの権利を大切にするという考えを広めるため、本市ではどのように取り組んでいるか伺う。</p> <p>イ こどもの権利についての教育や啓発活動を、より積極的に推進すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 「小牧市こども計画」について</p> <p>ア 今年度策定予定の「第3期小牧市子ども・子育て支援事業計画」は「小牧市こども計画」として策定されることだが、どのような違いがあるのか伺う。</p> <p>イ こども基本法では、こども施策を策定し、実施するに当たり、こども・若者の意見を幅広く聴取し、反映させることを市町村に義務付けているが、「小牧市こども計画」の策定に当たり、どのようにこども・若者の意見の聴取を考えているか伺う。</p> <p>ウ 計画の実施や評価に当たり、どのようにこども・若者の意見を反映させていくのか伺う。</p>	

質問項目 No. 1	小中学校体育館への空調設備の整備について	備考
要旨	<p>(1) 空調設備の必要性について 空調設備の整備の必要性の認識について問う。</p> <p>(2) 空調設備の整備検討について 具体的な検討状況について問う。</p>	

質問項目 No. 2	大規模地震に対する備えについて	備考
要旨	<p>(1) 基幹的広域防災拠点について 愛知県が整備する基幹的広域防災拠点の現状について問う。</p> <p>(2) 南海トラフ地震への対応について ア 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表時の対応について問う。 イ 本市の応急給水体制について問う。</p>	

質問項目 No. 1	市制施行70周年について	備考
要旨	<p>令和7年は、市制施行70周年の記念すべき節目の年である。記念すべき年を、行政のみならず市民や各種団体、企業など「こまき」にかかわるすべての方々と祝い、「こまき」への愛着と誇りを深めるとともに、きらめく未来への挑戦する機会とすることが必要である。</p> <p>(1) 記念事業の基本方針について 令和7年1月から1年間、様々な記念事業を実施されるが、実施にあたっての基本的な考え方を伺う。</p> <p>(2) 記念式典について 「こまき」にかかわるすべての方々と祝うため、どのような記念式典を検討されているのか伺う。</p> <p>(3) 市制70周年にふさわしい事業について 「こまき」への愛着、誇りを深め、未来への挑戦につながる事業について伺う。</p>	

質問項目 No. 2	区長業務について	備考
要旨	<p>区長は、その自治会を代表する立場にあり、地域のために住民の意見を聴きながら、自治会運営に尽力されている。</p> <p>また、市は、毎年4月に行政事務の一部を区長に委嘱し、連絡調整や意見の取りまとめ等をお願いしている。</p> <p>このように、区長は時間と労力を費やしておられるが、近年の物価高の影響は区長業務にも大きく影響してきており、一方で、定年延長や年金支給開始年齢の引上げなどの影響により、区長の担い手不足にも頭を悩ませておられる。</p> <p>そうした中で、市からの委嘱業務に対する手当が内容、量に見合っていないといった声を聞くことがある。</p> <p>(1) 区長に依頼する業務について 市から区長に依頼する業務には、どのようなものがあるか伺う。</p> <p>(2) 区長手当について ア 区長手当の額は、どのように積算されるか伺う。 イ 他自治体における区長手当はどのような状況となっているか伺う。</p>	

質問項目 No. 1	新型コロナワクチンについて	備考
要旨	<p>令和5年の第4回定例会で一般質問時に申し上げたが、1977年から2021年の過去45年間で、厚生労働省発表の全ワクチン累計死亡認定者数151件に対し、新型コロナワクチン死亡認定者数は210件あり、わずか数年で新型コロナワクチンが過去45年間の死亡認定者数を超えている。</p> <p>令和6年7月31日付の厚生労働省発表の公開情報では、新型コロナワクチン死亡認定者数は747件と、わずかな期間に537件も大幅に増加し、今後も増え続ける懸念がある。</p> <p>(1) 新型コロナワクチン接種について ア 新型コロナワクチン接種による健康被害の相談件数を問う。 イ 予防接種健康被害救済制度の申請者数を問う。</p>	

質問項目 No. 2	田縣神社豊年祭について	備考
要旨	<p>田縣神社豊年祭は市指定無形民俗文化財に指定され、毎年3月15日は市全体で祭りを盛り上げている。</p> <p>(1) 田縣神社豊年祭を知る機会の提供について ア 市指定無形民俗文化財であるが、市は文化財としてどのように活用して市民に伝えているのか問う。 イ 田縣神社豊年祭について学校で歴史郷土教育が行われているのか問う。</p>	

質問項目 No. 1	本市のサイバーセキュリティの取組について	備考
要旨	<p>近年不正アクセスによる個人情報の流出や、ランサムウェア被害などが官民間わず多発している。デジタル社会の到来において、サイバーセキュリティは喫緊の課題であると言える。</p> <p>(1) 職員のセキュリティ教育について 本市職員のセキュリティ教育についての取組を伺う。</p> <p>(2) ITシステムのセキュリティ強化について 現在使用しているシステムの状況について伺う。</p> <p>(3) セキュリティインシデント対応体制について 緊急事態発生時の対応についてどのような取組を行っているのか伺う。</p>	

質問項目 No. 2	水道料金のキャッシュレス決済について	備考
要旨	<p>2019年6月に閣議決定された「成長戦略フォローアップ」で、2025年（令和7年）6月までにキャッシュレス決済比率を倍増し4割程度とすることを目指し、キャッシュレス化推進を図ることとされており、利用者数は大きく増加している。</p> <p>本市でも水道料金についてオンライン決済が可能となり、令和4年11月からPayPayなどのスマートフォン決済アプリでの支払いが可能となった。</p> <p>(1) スマートフォン決済アプリの支払い利用状況について ア 現在の利用率について伺う。 イ 今後の需要予測について伺う。 ウ 業者への支払い手数料について伺う。</p>	

質問項目 No. 3	災害用備蓄品の購入支援について	備考
要旨	<p>近年、日本各地で頻発する自然災害に対し、防災意識の向上がますます重要視されている。本年8月には南海トラフ地震臨時情報が発表されたことにより一層の危機感が芽生えたことと考える。</p> <p>特に、家庭や個人で備える防災セットの普及は、災害発生時の初動対応において極めて有効である。しかし、現状として災害用備蓄品を一式備えるための費用は高額であり、特に経済的に余裕のない世帯にとっては購入が困難な場合もある。そのため、本市においても災害用備蓄品の購入に対する補助制度を導入することで、市民の安全確保と防災意識の向上を図る必要があると考える。</p> <p>(1) 小牧市の現状について ア 本市の災害用備蓄用品の備蓄状況を伺う。 イ 自主防災会での取組について伺う。 ウ 市民への意識啓発についての取組について伺う。</p> <p>(2) 災害用備蓄品の購入に関わる補助について 防災グッズを一式備えるとおよそ1万円前後の費用がかかるが、本市として補助制度を設ける考えはないか伺う。</p>	

質問項目 No. 1	保育園における使用済みおむつの施設内処分について	備考
要旨	<p>本年7月から、公立保育園における使用済みおむつの施設内処分が始まりました。令和6年度の当初予算の概要には、「使用済みおむつの施設内処分の推進により、子育て世代の負担軽減を図るとともに、保育現場の業務負担軽減効果により、手厚く保育にあたる時間を確保し、充実した保育提供体制を確保する」とあります。</p> <p>(1) 施設内処分実施後の現状について ア 保育士の感想について伺います。 イ 充実した保育提供体制に向けた課題について伺います。</p> <p>(2) 更なる保護者の利便性向上、負担軽減について ア 保護者の感想について伺います。 イ 紙おむつのサブスクリプションについて市内の私立保育園等における導入状況について伺います。 ウ 他市の公立保育園のサブスクリプションの導入状況について伺います。 エ 本市の公立保育園へのサブスクリプションの導入について、どのような課題があるか伺います。</p>	

質問項目 No. 2	小中学校の水泳授業の民間委託について	備考
要旨	<p>現在、学校プールの廃止や水泳授業の民間委託を進めている自治体が増えてきています。本市におきましても、建て替えを予定している米野小学校において新たな学校プールを設置せず、民間プールを活用していくこととし、今年度より水泳授業の民間委託が始まりました。</p> <p>(1) 米野小学校の水泳授業の民間委託について ア 民間委託をしている水泳授業の状況について伺います。 イ 水泳授業に対する児童や教員の評価について伺います。</p>	

質問項目 No. 1	学校給食無償化について	備考
要旨	<p>学校給食は食育であり憲法に規定された「義務教育の無償」の観点から給食費の無償は当然だと考えます。</p> <p>昨今は7人に1人の子どもたちが貧困状態にあると言われております。学校給食は十分に食べることができない子どもたちにとって生命線でもあります。</p> <p>学校給食を無償化する自治体は年々増えていますが、小牧市は現在第3子以降と第2子の中学生が無償の対象となっています。</p> <p>(1) 本市における学校給食無償化について</p> <p>ア 「給食は義務教育の一環」という考え方について市の見解を問う。</p> <p>イ 県または国に対して無償化の要望を市として今までに行なったことがあるのかを問う。</p> <p>ウ 文科省は初の全国調査の結果を6月12日発表した。その内容について市の見解を問う。</p> <p>エ 現在の第3子以降と第2子中学生の無償化による公費負担額について問う。</p> <p>オ 市内全小中学生の給食費を無償にした場合はいくらかかるのかを問う。</p> <p>カ 市として無償化する考えはあるのかを問う。</p>	

質問項目 No. 1	新たな学校づくりと少人数学級推進について	備考
	<p>(1) 新たな学校づくり推進計画のパブリックコメントについて ア 提出された意見で、特徴的だった内容は何か問う。 イ 提出された意見で、少人数学級づくり、小規模校における教育については、どのようなものがあったか問う。</p> <p>(2) 新たな学校づくり推進計画と少人数学級推進について ア 少人数学級推進についての国の施策の概要は、どのようにあるか問う。 イ 少人数学級推進についての、愛知県独自の現状の対応について問う。 ウ 少人数学級推進についての、本市独自の現状の対応について問う。 エ 少人数学級推進についての、主な近隣市町独自の現状の対応について問う。 オ 児童生徒数の減少は、少人数学級導入のチャンスであり、本市独自に少人数学級づくりを推進すべきだと考えるが、見解を問う。</p>	

質問項目 No. 2	小牧市における公共交通網の整備について	備考
要旨	<p>(1) 令和8年度こまき巡回バス「こまくる」再編計画について</p> <p>ア 令和8年度こまき巡回バス「こまくる」再編計画の主な方針は何か問う。</p> <p>イ 「利用しやすいルート」に関連して、「地域拠点」の一部として、中央道桃花台バス停への接続向上の見通しを問う。</p> <p>ウ 「利用しやすいルート」に関連して、令和7年秋に一部完成予定となっている小牧オアシス施設への接続向上の見通しを問う。</p> <p>エ 「近隣他市との連携強化」に関連して、春日井市との連携強化の見通しを問う。</p> <p>(2) 2024年問題及びこまき巡回バス「こまくる」運転手不足への対応について</p> <p>ア 「運転手不足を踏まえた令和8年度こまき巡回バス「こまくる」運行体制の見直し」に関連して、支線系路線の運転手を一台当たり一人体制にすることにより、運転手人数や運行本数にどのような影響が出るか問う。</p> <p>イ こまき巡回バス「こまくる」運転手不足解消のための対応策を問う。</p> <p>ウ こまき巡回バス「こまくる」運行本数の減少を補うための対応策を問う。</p>	

質問項目 No. 1	小牧市下水道事業長期経営計画について	備考
要旨	<p>(1) 下水道使用料の適正化について</p> <p>ア 平成17年に総務省が自治体に対し使用料の適正化を図る考え方として示したことについて、市はどのように対応したのか問う。</p> <p>イ 小牧市は豊かな財政力で、長期にわたり投資を拡大し下水道事業を展開してきたが、その中において市が反省すべきことはないのか見解を問う。</p> <p>(2) 下水道事業と都市計画税について</p> <p>ア 下水道事業に都市計画税はどれだけ使われてきたのか問う。</p> <p>イ 基準外繰入金の推移を問う。</p> <p>ウ 経費回収率100%まで上げると基準外繰入は、実質なくなると思われる。そうであれば基準外繰入金の財源の一部である都市計画税も不要となる。市民負担を軽減するためにも都市計画税の引き下げをすべきだと考える。見解を問う。</p>	

質問項目 No. 2	自衛隊への名簿提供について	備考
要旨	<p>(1) 令和6年度の名簿提供内容について ア 提供内容を問う。 イ 除外申請を受け付けたのか問う。 ウ 愛知県下で除外申請を受け付けていない自治体は、小牧市、大府市、東郷町、南知多町、東栄町である。令和7年度以降は小牧市も受け付けるべきと思うがどうか問う。</p> <p>(2) 今後の対応について 日本共産党道議団・札幌市議団が本年7月に行った政府交渉で、「自衛官または自衛官候補生の募集事務に関する資料の提出について」の通知に関して、防衛省は「地方公共団体が国の行政機関が行った助言に従わなかつたことを理由に不利益な取り扱いをしてはならない」、また「知事、市町村長に対して個人情報の提出を求めているが強制するものではない」と回答した。 小牧市は今後名簿の提供を取りやめ、閲覧方式に戻すべきだと思うが見解を問う。</p>	

質問項目 No. 1	自立持続可能な自治体にする為の取組について	備考
要旨	<p>消滅可能性自治体という言葉を耳にするようになり、自治体の存続について危機感がある中で各自治体の対応により、2014年の同一調査に比べ、2024年の調査では、152の自治体が脱却したものの、新たに99の自治体が加わったとの発表もあった。また厚生労働省のデータによると、2023年の出生数は72.7万人であり、2024年についても出生数はさらに減少して、70万人を割り込む可能性が高いとされている。本市についても人口減少は続いている状況と考えるが現状と今後の対策について問う。</p> <p>(1) 人口戦略会議について 結果をどのように捉えているか問う。</p> <p>(2) 人口減少対策事業について 人口減少対策として行っている事業の成果について問う。</p> <p>(3) 今後の施策の在り方について 地域の特性にあった対策を求められているが、今後の施策の在り方について問う。</p>	

質問項目 No. 1	教育後援会費について	備考
要旨	<p>市内小中学校の多くに教育後援会が設置されており、素晴らしい活動に取り組んでいただいております。しかし、その教育後援会費に関して2つの問題点を感じています。</p> <p>1点目は、教育後援会費が任意の寄附であることがしっかり伝わっていない状態で集められており、さらにその使い道も寄附者に伝わっていない実態があります。</p> <p>2点目は、集めた寄附金が本来は公費で賄うべきものに使われている実態があります。</p> <p>他の自治体でも公費で賄うものにPTA会費が使われていた問題がありますが、市内の教育後援会費でも同様の問題があると考えます。</p> <p>(1) 教育後援会費の現状について</p> <p>ア 各学校が寄附を受けた教育後援会費の合計額を伺います。</p> <p>イ 寄附金の使用用途を伺います。</p> <p>ウ 教育後援会費の集金方法を伺います。</p> <p>エ すべての市民に教育後援会費が任意の寄附であることは伝わっているのかを伺います。</p> <p>オ すべての寄附者へ寄附金の用途が伝わっているのかを伺います。</p> <p>(2) 今後の教育後援費の対応について</p> <p>寄附金に依存しない学校運営は出来ないのかを伺います。</p>	

質問項目 No. 2	大草地区の道路整備について	備考
要旨	<p>桃花台や大草から春日井方面への多くの車通勤者から大草地区の渋滞の苦情が多く寄せられています。</p> <p>主な内容は県道196号神屋味美線・県道199号高蔵寺小牧線・県道195号荒井大草線の渋滞に関する苦情です。</p> <p>具体的には「通勤時間が30分ぐらい多くかかるようになった。もともと渋滞しているのに新規物流会社が出来てさらに渋滞した。勘弁してほしい。」「市は何も考えてないじゃないか。北尾張中央道も19号まで繋がってないのに物流会社はないだろう。」等、切実な渋滞問題のご意見を多く頂いております。</p> <p>(1) 大草地区の道路渋滞状況について ア 市が把握している現状の大草地区の渋滞状況を伺います。 イ 新規物流会社開業後の影響を伺います。</p> <p>(2) 今後の大草地区の道路渋滞予測について 小牧オアシスインターインジ開業後の大型運送車や自家用車の流れはどのように予測しているかを伺います。</p> <p>(3) 大草地区の渋滞対策について ア 大草地区の都市計画道路桃花台高蔵寺線・小牧東部中央線・北尾張中央道の国道19号方面への延伸の道路整備計画の進捗について伺います。 イ 吉原交差点の右折専用車線の必要性についてどのように考えているのかを伺います。</p>	